

読誦会・報恩お会式会開催報告

「お囃子が流れていて、まるでお祭りみたい」

「午前中の読誦会はお経が長くてどうも…」

「10月13日は日蓮大聖人にお会いできる一年で一番大切な日」

と言った檀信徒さんの感想が法要終了後のお茶の席で聞かれました。

10月13日は日蓮大聖人が入滅された日。一般の人で言うと亡くなられた日。「第732遠忌法要をしめやかに営む」というイメージですが、池上の本門寺や身延山の『お会式会』と言えば纏（まとい）を先頭にお囃子にあわせ御万灯が練り歩くとといった感じで賑やかに執り行われているようです。

お会式会が賑やかに行われるようになった由来については諸説があります。「もともと日蓮大聖人が賑やかになことが好きであった」とか「日蓮大聖人が命がけで人々を救おうとされた気概を持つという心から賑やかに行われてきた。」と言った説。「日蓮大聖人が入滅されたこの日、日蓮大聖人の魂にお会いできることを歓迎するために賑やかに行う」と言う説。他にも「本門寺の山号額の長栄山の榮の字が『火除け』の意味をもつことから、火事の多かった明治の火消し達（浅草下谷消防団が始めた）が、町内の日蓮宗講の人たちと共に『火消し装束』で纏を振り、景気をつけながら集まって来ることから始まったと言われる。」などです。



檀信徒で作った御万灯と纏です

当山でも池上や身延山の『お会式会』に倣って今年も手作りの御万灯と纏を奉納させていただくことができました。

午前10時。読誦会が始まり、普段読むことの少ないお経に悪戦苦闘しながら、時に佐口上人の声であったり時に他の檀信徒の声を頼りに。またある時は、どこを読んでいるのかさっぱり分からず途方に暮れることも…。

と言った事を法要終了後お茶を飲みながらみんなで話していると佐口上人が「それでも、みんなは最後まで座っておれたよね。因縁がある人は最後まで座っておれないからね。」と言われました。知らないうちに因縁が消えていたのでしょうか。確かに、最初はお経を読み始めても1分も続かなかったのが、今では何とか読誦会に参加して最後まで座っていられるようになりました。

日蓮大聖人が入滅された日。日蓮大聖人の魂にお会いすることのできる1年で1番大切な日。今年も参加することができ、去年よりもほんの少しだけですが成長することができたのかな?と思いました。

最後に「檀信徒の皆さんで作った御万灯と纏を背に写真を撮ろう」と思ったのですが、時すでに遅く皆さん帰られた後でした。来年はこの反省を生かして、檀信徒の皆さんと御万灯・纏と一緒に写真に撮りたいと思っています。



礼拝。心静かに…



お経を読む。一文字一文字が仏様です。



御万灯の周りで太鼓を…
心を一つに…

お供物を配ります



たくさんあるよ



法要も終わり、楽しい会話

日蓮大聖人と檀信徒を結ぶ結縁の糸



お茶を飲みながらの反省会。

皆さん、貴重な意見ありがとうございました。



H25年10月 報恩御会式会

〜
〜 笑う (^^) スマイル 〜
〜

11月ですね。今年もあと2ヵ月……早いんですね。

急に寒くもなり。台風が日本列島を……と心配
する事も多くあります。体調第一で過ごした
いんですね。

新しい職場に入っ、私も一年が過ぎました。

まずは仕事になれようと毎日必死に過ぎてき
たように思います。沢山の不安や使財もありま
した。色々な人達に助けられ続けられている
んだ”と思います。

今の職場に入りとても前向きな人。笑顔が
とても素敵。人との出会いがとても有り難い

です。私にとって一番有り難かったのは、夏休みなど子供を連れて出勤させて頂けた事です。働くお母さんはみんな悩み苦しんでいる所でもあるので...

上司の方からは親の働く姿を見せてあげた事は、子供にとってもプラスになるし、大事な事だとも言ってくれたり。親の私にも娘にも安心感を持たせてくれた事にとっても感謝しています。

一緒に過ごした娘にも、この職場はみんな笑って楽しいと言ってもらえた事が今年一番嬉しく感じました。

つらく悲しい事があっても、一人の笑顔、二人の笑顔とその中にいると、その思いは少なくなっていくのかもしれない。

この感謝の気持ちを忘れずに、自分の事だけでなく、周りの方や出会う人と一緒に成長していけたらと思います😊

❁❁ 右手の鍵 として 左手の宝珠 ❁❁

先月、台風の影響を気にしながら、七面山へ参拝しました。いつも七面山へ行こうと思う時は、迷い・苦しみ・不安・願いなど、私の心が煩悩で溢れそうになり、どうしようも出来なくなった時ばかりでした。

しかし、今回は違いました。「七面山へ行きたい」その思いだけでした。

今年は、永年の願いが成就しました。それだけではありません。我が家に、とても大きな喜びがいくつも訪れました。

以前の私は、七面山に参拝するたびに、思いもしない出来事が起こりました。「何故？ 一生懸命、手を合わせているのにこうなるのだろうか？」せっかく七面山へ行って来たのに…。そのような思いばかりが、心の中を支配していました。

今思うと恥かしいばかりです。

それは、自分の考えを中心に物事を考えていたからだと気づきました。相手の気持ちを考えてみる事が大切だと思えるようになりました。

七面様の御開帳の時、止めどなく涙が溢れて、自分自身でも、どうしてこのような状態になるのだろうか?と思いました。ただ...気持ちには、参拝させて頂けた喜びでいっぱいでした。「報恩感謝」「報恩感謝」と心の中での思いが涙になったのでしょうか?

祖訓は「祈禱経送状」が拜読されました。

この祖訓を拜読した時、永年の夢が成就した私には、

「そうだ!!」「その通りでした!!」「有り難い、有り難い、お教えだ」心の中に何かか、浸透していくような気持ちになりました。

講話で七面大明神は右手に鍵を持ち心の扉を開け、左手に宝珠を持ち、新たな命を与えるとのお話しに、改めて気がつきました。七面大明神様の右手の鍵で私の心の扉を開けて頂き、左手の宝珠で新たな命(心)を与えて頂いた事に深く感謝しています。

下山の時は降り続く雨の中、まるで浄化されているような、さわやかな気分になりました。七面大明神様に「また、参拝します。」と、あいさつしました。次回はどのような気持ちで、参拝できるでしょうか。楽しみです。9

祈禱經送狀

法華經の行者は信心に退轉なく、身に詐親無く、一切法華經に
其の身を任せて、金言の如く修行せば、慥に後生は申すに及ば
ず、今生も息災延命にして、勝妙の大果報を得、廣宣流布の大
願をも成就すべきなり。

♡ 手を合わせる心 ♡

朝晩すっかり涼しくなりましたね。先日、子供達と公園に行くと、小学生のお兄ちゃんが「公園に咲いていた花をちぎって手に持ち、「お供えに行かないきゃ!!」と走って行きました。するとすぐに戻って来て、一緒に遊んでいた友達に「お参りしてこよう!!」と声を掛け、みんなを連れて走って行きました。聞いてみると、「死んでしまった鳩を埋めたから…」と答えてくれました。動物虐待も聞かれるこのご時世に、生き物を大事に思う子供の姿に触れ、心が温かく感じたのを覚えています。きっとその子は両親や祖父母達から、お花をお供えする事や、手を合わせる心を学んでいるのでしょうね。

私が龍正寺とのご縁を頂いたのは、流産してしまつた子供の供養のためでした。それまでは、お参りする事が「恥づかしい」とも思っていた程です。

でも、七き人に心を向けるのはもちろん、心を落ち着かせて自分を見つめ直す時間である事も教わりました。そして、今の自分がいるのは父と母の

お陰であり、その父と母が"いるのは祖父母のお陰
…と代々繋"がっているお陰だ"という事に、日々
感謝して手を合わせるようになりました。苦しいこと
も辛いこともありますが、やまない雨はありません。
そして、その雨も草木が"成長する"ように、自分達も
変われるチャンスである事も多くあると実感していま
す。

3月11日、東北を襲った津波被害…大変痛
ましい出来事でした。日本が"絆"という言葉で繋"が
りました。そしてつい先日11月3日、東北楽天イーグ
ルスの初日本一!! この出来事"が"どれだけの皆さん
の心に元気を与えること"が"できたか"と思うと、この
日付であった"のが"偶然"ではなく必然"であった"ので
はないか"と思うのは、私"だけ"でしょうか?

龍正寺とのご縁により、大切な事を沢山教わ
っています。この心を子供達にも繋"げていき"たいと
願っています。

< 11月寺院行事 >

11月13日(水) 10:00~ { 宗祖日蓮聖人報恩会
小松原法難会

11月17日(日) 龍正寺団参(身延山 久遠寺)
鬼子女尊神. 七面大明神祈禱会

< 住職行事内容 >

11月17日(日) 龍正寺団参

11月27日(水) ~ 28日(木) 再々行会

< 11月の予定 >

11月6日(水) ~ 各々の時間で 清掃、準備活動
}

12日(火) " お供物準備.

皆さんで"ご奉仕活動"を!!

11月より本堂の大清掃を始めます。
清掃場所等を分かりやすく表示して清掃
道具と一緒に置かせて頂きますので、お時間
のある時に"ご奉仕活動"をさせて頂きませんか?
皆さんと共に功德を積ませて頂きましょう!!

